

第4回リニア駅周辺整備基本構想検討会議の概要について

1 開催日

平成27年3月10日(火)

2 出された意見の概要

＜基本方針1＞

- 駅の高架下は少ないスペースとなるので、どの施設を入れるのかじっくり検討すべきだ。
- 周辺の段丘地形を生かした駐車場を整備したらどうか。
- 魅力発信施設に多目的に利用できるイベント広場を設置したらどうか。
- 移転する住民が北条地区内に住み続けられるようにし、生活道路や地域コミュニティを維持するための施設の整備も行うべきだ。
- 公共交通の確保、具体的には、例えばJR飯田線への乗換利便性を確保することが重要である。
- パーク&ライドの駐車場を防災面としてだけでなく、収益面も期待し得るような機能も検討したらどうか。

＜基本方針2＞

- 飯田線乗換新駅を設置することによって移転家屋が生じないようにすべきだ。
- 飯田線乗換新駅へのアクセス道路は現道利用とすべきだ。

＜基本方針4＞

- まず最初に、都会の人がもつ農業就業ニーズへの対応を検討したらどうか。
- 「駅に近接して導入するか検討を要する機能・施設」は、北条地区以外へ設置すべきだ。
- 春夏秋冬を通じて、伊那谷地域に観光の魅力があることを発信する意味で、冬場をアピールする写真を入れたらどうか。

＜第4章＞

- 今後の進め方のテーマとして農業振興も重要であるので、記載したらどうか。
- 市民の参画について、もっと意識的に加筆し、強調したほうがよいと感じている。
- できるだけ多くの市民意見、特に将来を担う若者世代の視点は大切にすることが望ましい。

＜全体意見＞

- 地域の目標は、玄関口(ゲートウェイ)ではなく目的地としても選ばれることであるので、基本構想策定時はこのままでよいと思うが、その表現については将来的に検討してみてはどうか。